

平成18年3月 定例教育委員会 会議録

平成17年度塩尻市教育委員会3月定例会が、平成18年3月24日、午後1時30分、塩尻総合文化センターに招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 4月の行事予定等について
報告第2号 後援・共催について
報告第3号 市議会3月定例会報告について
報告第4号 総合文化センター機械室倉庫活用計画について
報告第5号 校長、教頭の人事異動について
報告第6号 教育相談員等の配置について

4 議事

- 議事第1号 塩尻市教育委員会等の公印規則の一部改正について

5 その他

- その他第1号 「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動について

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	百 瀬 哲 夫	委員長職務代理者	百 瀬 道 能
委員	丸 山 典 子	委員	岡 本 た ま
教育長	藤 村 徹		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	赤 羽 修	こども教育部次長	丸 山 保
こども課長	酒 井 正 文	保育指導担当課長	大 野 田 や す 子
家庭教育室長	樋 口 千 代 子	生涯学習部長	武 居 和 雄
生涯学習部次長	神 戸 保	社会教育課長	白 木 進
平出博物館長	小 林 康 男	短歌館館長	山 崎 千 尋
スポーツ振興係長	寺 澤 好 則	男女共同参画課長	山 田 昭 文
人権推進室長	青 木 弘 貴	文化会館館長	北 沢 久 男
文化会館副館長	川 手 て る 子		

○ 事務局出席者

教育企画担当課長	小 島 賢 司	教育総務課長補佐	鳥 羽 嘉 彦
----------	---------	----------	---------

1 開 会

百瀬教育委員長

それでは定刻になりましたので、3月の定例教育委員会を開きます。本年度最後の定例教育委員会となりますが、今月は市議会等もございましたので後ほどご報告いただけたと思います。よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の署名

百瀬委員長

次第に従いまして2番、前回会議録の承認について事務局からお願いします。

小島担当課長

前回、2月の定例会の会議録について、後ほど署名をお願いするものです。

なお、1月分の署名についても、今回、あわせてお願いします。

百瀬委員長

署名につきまして、会議終了後ということで、いつものようにお願いしたいのですがよろしゅうございますか。

委 員

異議なし。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。それではそのようにお願いします。

3 教育長報告

百瀬委員長

それでは、3番、教育長報告に移ります。総括的に教育長からお願いします。

藤村教育長

ご苦労様でございます。

ただいま委員長からお話しのあったように、本年度最後の定例教育委員会ということであります。本年度は、不祥事が我々にも重くのしかかった年でありました。そのような中でうれしかったこととして、ワールド・ベースボール・クラシックがあり、私も決勝戦をテレビで観させていただきました。アメリカ戦では、審判の誤審があり、それをきっかけに日本中が盛り上がってきたのではないかと感じました。なぜテレビの視聴率が40パーセント近くになるような異常な盛り上がりになるか考えましたが、王監督に代表されるようなまじめで、誠実、勤勉というか、一生懸命にやる姿が日本人の心情であり、そうしたアイデンティティーが盛り上がりにつながったのではないかと思います。考えてみるとまじめ、誠実、勤勉と言うような価値観が今の人たちにはあまり認められておらず、大事なもので粗末にされているものが、野球を通じてよみがえってきているのではないかと思います。そして、子ども達にもまじめ、誠実、勤勉は、価値のあることとして身につけさせなければいけないと感じ、優勝はうれしい出来事だと思いました。

学校関係の人事異動ですが、長野県の昇任人事は、校長昇任が84人、内、女性が小学校で10人、中学校で3人という状況です。教頭昇任は90人、内、女性が小学校で10人、中学校で7人、自立学校が2人という状況です。塩尻市内では、校長昇任が3名で、内、1人が女性ということです。教頭昇任は非常に厳しくて、塩尻市内では1人という状況でした。

指導員相談員は、一覧表をご覧いただきたいですが、教育センターは青柳先生と徳原先生が退任ということで、後任に片丘小学校の小野先生に入ってください、あと一人は家庭教育室の教育相談員として、大池丘中校長が入っていただきます。家庭児童相談員では、横山先生の代わりに三沢先生に入っていただきます。中間教室はそのままです。生涯学習相談員には、岩波先生の代わりに笠原先生が県総合教育センターから来ていただきます。檜川地区文化施設館長には、芸大出身で漆芸家の石本ゆう子さんに入ってください、4館の施設を受け持ってください。男女共同参画課の女性相談員には、塩原てるみさんに入っていただきます。ふれあいプラザは、新しい人に、人権推進室は5年が過ぎましたが後任者がなく赤羽先生にもう1年担当していただきます。短歌館では、教育センターから青柳先生にお願いしています。

最後に市議会からのご指摘ですが、委員会で議員さんからいろんな指摘や課題が示されますが、しっかり協議をせずになおざりにしているのではないかと指摘がありました。そのようなことは無いわけですが、出された課題について教育委員会、部課長会の中でしっかり議論をし、一定の結論を出して実践するような見える形にしていく必要があると思います。議員さんには、せっかくの指摘が言いっぱなしにされたような不満が残っているようですので、来年度はしっかりやっていきたいと思えます。

細かな点は、課長さん方から報告します。以上です。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。

○報告第1号 4月の行事予定について

百瀬委員長

それでは、報告第1号、4月の行事予定について、こども教育部からお願いします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・3日には、校長等の辞令交付式があるのでご出席願いたい。
- ・6日は、小中学校の卒業式で、午前小学校、午後中学校と終日になるのでお願いしたい。
- ・次回の教育委員会は、小島課長から願います。

小島担当課長

次回、4月の定例会は、4月28日の金曜日を第一候補で、ご都合がつかなければ

ば26日又は27日に範囲を広げて調整をお願いします。

なお、日程の中で追加させていただきますが、6日の入学式の日には午後3時30分から臨時教育委員会の開催をお願いいたします。内容につきましては、塩尻市立図書館基本計画が議案となりますのでよろしくお願い致します。

百瀬委員長

それでは、生涯学習部をお願いします。

神戸次長

(資料に基づき説明)

- ・15日に、日本歌人クラブ第2回現代短歌セミナーが開催されるのでご出席願いたい。

百瀬委員長

ありがとうございました。それでは、質疑等がございましたらお願いします。

小島担当課長

申し落としましたが、4月の定例教育委員会の後に教育委員会関係者の歓送迎会が開催されるので、併せてお願いします。

百瀬委員長

質疑等なければ、ただいま追加で説明がございました、4月6日の臨時教育委員会はよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

はい。それでは、定例会を28日ということですがいかがですか。

28日に都合がつかない委員さんがいますので、26日、又は27日ですが、事務局はどうですか。

小島担当課長

生涯学習部を含めどちらも大丈夫ですが、27日はいかがですか。

百瀬委員長

27日ではとのことですが、委員の皆さんはよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

それでは、定例会は27日木曜日で、時間はどのようになりますか。

小島担当課長

午後3時からお願いします。

百瀬委員長

3時でよろしいですか。その後、事務局職員の歓送迎会ですね。

それでは、4月の行事日程につきましては、よろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

ありがとうございました。

○報告第2号 共催後援について

百瀬委員長

報告第2号共催後援について、こども教育部からお願いいたします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・劇団飛行船の公演が1件です。

百瀬委員長

スポーツ振興課お願いいたします。

寺澤係長

- ・課長が休暇のため、代理で説明する。

(資料に基づき説明)

- ・2件で、子ども達の新体操の発表会と例年開催しているソフトバレーボール。

百瀬委員長

はい、新体操はもう終わったわけですね。

寺澤係長

そうです。

百瀬委員長

社会教育課からお願いします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・後援が9件、共催が1件
- ・全国短歌フォーラム20回記念、全国歌人クラブ現代短歌セミナーの共催は、全国で5千人位の会員を擁する団体で、塩尻市でセミナーを開いていただける。
- ・その他、記載の通り。

百瀬委員長

はい、質疑等はございますか。

岡本委員

4ページの46号ですが、塩尻市倫理法人会は、どのような団体でどういった講演会になりますか。

百瀬委員長

社会教育課お願いします。

白木課長

塩尻市倫理法人会は、塩尻市の主な企業が全部入っています。よく実践倫理と間違われますがそうではなく、塩尻商工会議所会員がほとんど会員になっており、会費を集めて講師を呼び勉強会を開いているものです。通常は、1万円の会費で講演

会を開き話しをお聴きしています。

百瀬委員長

他にございますか。(なし)

それでは、報告第2号については、終わりにします。

○報告第3号 市議会3月定例会報告について

百瀬委員長

報告第3号市議会3月定例会について、部ごとに説明していただきたいと思いません。こども教育部からお願いいたします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・ 常任委員会の意見も提出したので、調書が多くなっているがよろしくお願ひしたい。
- ・ 中原議員には、現在の安全対策を報告した。小児科学会のホームページは、広く紹介していく。
- ・ 柴田議員には、今後の施設整備の考え方を答弁した。
- ・ 鈴木議員は、教育基本法について党方針から質問があったが、将来を見据えた議論の展開を期待すると答え、檜川地区統合校では、小規模校の対応を慎重に検討すると答弁した。
- ・ 中村議員は、青少年対策について、防犯対策のコーディネートを学校、PTAが主体に推進すること、CAPについて新年度は5校に拡大すること、県のスクールガードが1名配置されており連携していくことを答弁した。
- ・ 同じく、非行グループについては、塩尻市には無く松本市に行って「ブラックストリートギャング」に加わっているおそれがあること。覚醒剤も実態はないが、潜在的なものがある状況を説明した。相談については、25件あり早期対応をしていくことを答弁した。
- ・ 私立高校については、入学保証金の実態として、市内の状況を調べたが3万円から17万円の開きがあり、平均では112,800円であり、私学助成は性格が違い困難と回答したが、塩尻市全体では1,400万円くらいの金額になる。
- ・ 給食費とPTAのかかわりはいかがかとあったが、滞納等の関係で協力をお願いしたいとした。栄養教諭では、県が19年の配置を予定しているが、栄養士は教諭資格が無く、資格を取るため、放送大学を利用して単位取得を進めている。多い人では5教科、10単位の取得が必要であり2年かかりで取得できるようがんばっていると説明した。
- ・ 給食食材は、地域を優先しているが、答弁要旨の学校が年間で188百万円は、小中学校全部では約3億5千万円であり、保育園を入れれば5億円近い金額になる。新規参入は希望があれば、プレゼンテーションしていただき対応していくこととした。

- ・小野議員は、元気っ子育成支援プラン、保育園等施設整備計画で検討していく。両小野中学校の特別教室資料は火災で焼失していること、西部中の学び庵のような学校開放型の施設整備を考えるとの答弁した。
- ・武居議員は、先生方がデータを持ち帰えざるを得ない状況があり、新年度C A I の研究会の中で検討し情報の流出がないよう対応していく。
- ・ハシの導入については、衛生管理上の問題を、また、他の点については保護者や児童生徒と検討していく。
- ・伊藤議員の英語教育は、1校1名のA E Tで効果があったことと、新年度小学校に配置する効果を観て検討することとした。
- ・塩尻色の教育環境等は、現状を説明し、楽器は、これまでも言われているが一気に整備することは難しいと答弁した。
- ・贅川小学校の後利用は、広く意見を聴き地域審議会と相談することを答弁した。
- ・保育の現状は、要望に基づく特別保育の状況を説明し、保育士の待遇は、職員係と調整し新年度の見直しを答弁した。
- ・以下、常任委員会の内容として
- ・武居議員のキッズシェフについて、発展的に実施するよう提案があった。
- ・鈴木議員は、企業家教育について、経済的な危険度を大切に教えられたいとの提言があった。
- ・丸山議員は、本年度から職務代理にも大変お世話になった「こども科学探検団」について、たいへんに良いことであり中学生、高校生への拡大をと提案があった。
- ・中原議員は、生徒指導の関係に併せ何回も言われているが教員住宅の草取りについて提言があった。
- ・武居議員は、英語圏が地図上では狭いことの提言があった。
- ・丸山議員、武居議員からのセクハラ関係は、教育長からできる限り把握して留意していくと答えた。
- ・丸山議員の学校図書館ネットワークは、3年ほど前から研究しているが、予算折衝の中で予算が認められない状況であり、新年度に一步踏み込んだ中で検討したい。
- ・給食費の滞納については、年度末では回収し、最悪の場合も4月までには対応しており、まれにP T A総会で不能欠損する場合があること。困窮世帯については、就学援助費でカバーしている。
- ・塩原議員の生ゴミ処理機は、現在、東小、片丘小、塩尻中、広陵中に設置しているが、リース料が百万を超えており、無料のごみ処理費との比較の中では大変に設置は困難な状況を説明した。
- ・総合的学習交付金は、昨年から一律方式から学習内容による格差を付けている。
- ・鈴木議員の幼年教育研究は、学校から負担増の報告がないことを説明した。
- ・吉江議員は、要、準要保護の取扱いを説明し、前年収入の申告がない場合、奨

励費の申告がない場合の対応を説明した。

- ・丸山、武居議員の制服については、委員さん方からも審議をお願いしたいが、健康や不妊への影響があるとの話しに、教育長から一律の指導が難しいと話した。
- ・野村議員の換気扇は、設置後、室内の化学物質が基準を下回ったところは、運転していないが数値の高いところは運転の指導をしている。以上です。

百瀬委員長

それでは、いったんここで切らせていただいて、質疑等がございましたらお願いいたします。

丸山委員

中村勉議員の私立高校入学保証金ですが、ここ数年、子ども達が塾通いをしなければならぬ状況があります。塩尻市内でも塾への通学を調査していただきたいですし、家庭では塾の経済的な負担が大きくなっていると声があがってきていますので考慮していただきたいと思います。自分の回りの子どもからも教育費は、じわじわと加算されてきていると感じていますのでぜひ調査をお願いします。

それから問題としては、塾に行っている子ども達は、学校の授業でわからなくても塾に行けば良いとの考え方があり、成績の良い子達は、学校の中ですべて事がわかると思っていない状態です。授業評価も報告書をいただいています。授業がきちんとできているか、子どもが理解しているかについて、調査していただけたらありがたいと思います。

藤村教育長

費用の調査ですか。

丸山委員

小学校に行っている親からも「中学校に行ったら塾に行かせなければいけないか」と質問されます。ここ数年、特に多く聞くようになりましたし、クラスの中でも松本の名の通った高校に行っている子は、ほとんどが塾に行っているのが実態です。

クラスが習熟度別になり、そのような事が加速されていると思いますので、実態を把握して授業で補う必要があるところは学校で補えるように指導していく必要があると思います。

百瀬委員長

まず実態ですが、県でやっている学習生活実態調査がありますね。それをまとめたものはありませんか。

藤村教育長

5月6日までに提出する調査がありますので、そこから抜き出せばわかると思います。

鳥羽補佐

塾へ通っているパーセントでしたら、その調査から出ると思います。

百瀬職務代理

シルバー人材センターでやっている「おさらい教室」がありますね。学校としては、どのような関連がありますか。

藤村教育長

学校は、募集チラシを配布しています。

百瀬職務代理

行っている子に聞くとよく分かると言います。学校では、そのような点をどう考えているんですかね。

藤村教育長

「おさらい教室」は、学校と教え方、教授方法がまったく違います。一人ひとりに合った、わからないところをしっかりと分からせる指導しています。学校でも今は、少人数で良くはなってきましたが、一人ひとりに応じた指導は難しい状況です。各学校で学力テストをやって結果を出し、全国的な規模で比較していますが、全国の平均よりは上との報告もあります。

丸山委員の言われる進学校へ行っている子が塾に行っている子かどうかはわかりません。

先日のフォーラムでも学力の問題が出て、後の会では、塩尻市でも土曜日の活用を考えた方がいいと提案もありました。東京では、土曜日の授業をその学校の先生で実施するために、その報酬を市が予算化している例があるようです。そういうことになると、全部の子どもを対象にはいいですが、特定の子どものためには税金の使途として許されないでしょうし、中学全校でとなればそれも議論が必要で難しい問題です。また、長野県は親が勉強しないとも言われましたので、その点からも難しいかなと感じました。とにかく意欲をどのようにかき立てるかが課題ではないかと思いました。

百瀬職務代理

意欲といえば、企業の仲間で集まって話しますが、今の若い子達は仕事に対する意欲がないんですよね。言われたことだけ、それしかしないですね。我々は、人のやり方をまねしたり、それ以上にやったり、土曜日でも日曜日でも仕事をするなど当たり前のようにしましたが、いまはそういうところがないですね。勉強に対する意欲もそのようなことがあるのではないですかね。

藤村教育長

歯科大の学長さんは、入ってきた子ども達に中学や高校の補修をやるそうです。補修をしなければ、学力が低くて専門教科へ進めないとのことで、多くの大学が同じ状況だとのことです。そのようなことをお聞きすると義務教育、高校教育の責任は重いと感じました。

百瀬委員長

確かに基礎的な、算数、数学で言えば加減乗除のような事が重要で、そういう問題になるんでしょうね。授業評価のなかで、どのような授業をしているか、子どもや親がどのように評価をしているか検証をしながら授業に臨んでいると思いますが、

そのような学校自己評価も大事ですし、世の中全体の流れや実態も観ながら取り組む必要があると思います。

丸山委員

伊藤議員の1校1人体制のゆとり教育について、ベストセラーになっている藤原正彦さんの「国家の品格」という本にも、前にご講演いただいた時にも思いましたが、ツールとして英語で話すことは必要ですが、中身のないことを英語で話しをしてもそれはなんにもならないと思いました。今は、ゆとり教育の中で時間が大変に詰まっていて、中学の家庭科でも美術でも2時間続きの授業がとれない状態です。たとえば情操教育や食育教育を進めていく場合も、小学校が時間を取れない中で英語教育を入れていくと実際に委員長さんがおっしゃったように、基礎基本として子どもの時に古典を覚えるとか長文を読み通す時間がだんだん削られ、教育長さんのお話のように日本人としてのアイデンティティーを育まなければならない時期にどうなのかなと思います。どういう形で塩尻市の教育をやっていくかに関わるとは思います。ちょっとこれはどうかと思います。親しむということはいいいと思います。英語、英語ではなく、もっとやるべき事があるのではないのでしょうか。

藤村教育長

英語活動は、来年度から進めますが、日本の文化、歴史をしっかりと身につける前にどうかとの議論もあります。ただ先日のフォーラムの先生方の話にも、そのような事も大事ですがこれからの子ども達が国際社会で活躍するには、英語のコミュニケーション能力は最低必要だと、そのような教育をしないと社会に出て行っても活躍できないよと盛んに言われています。ですから最低英語でも会話ができることがこれからの子ども達には必要だと考えています。エプソンの社長も外国へどんどん出て行く中で、どうしても英会話ができなければだめだと強調していました。そのため小さな時から英語に慣れさせることが大事だと企業の立場から発言されています。

したがって英語だけではなく、日本の国語力、歴史、文化などをしっかり教えながら、英会話につながるような素地を培って中学校へつなげることを基本的な考えとしています。時間的な事についても、総合的な学習の時間内に納めほかの教科の時間に影響が出ないようにしていますのでご理解をお願いします。

百瀬委員長

この取り組みには、研究会をつくってカリキュラムも検討されるということでしたね。4月か5月ころになりますか。

藤村教育長

すでに組織はできて、2回ほど打合せをしています。

丸山次長

3月29日には、国際理解教育の先生を教育するワークショップを実施し、進めていきます。

百瀬委員長

新年度の中で進めていただき、機会をみて報告していただきたいと思います。

岡本委員

フォーラムの中であったように、これからは英語が必要なことと、日本人として日本語をきちんと話せ日本文化を理解している素地があってこそ英会話が活きるとの二つの議論があり、来年度から2校選んで推進することについては賛成しています。

この議論をするたびに思うのは、英語学習ではなく英語活動としているなかでは、英会話の能力は身に付かないと思います。その国の言葉で会話をするためには、ある程度の文法を踏まえた上で集中的にやらなければ身に付かないと思います。小学校に英語を導入してどのような目標点でやるのか、中学校の英語にどのようなようにつなげるのかをこの一年間でしっかり観ていただいて、塩尻市として小中連続した明確な目標をたてないと、ただ時間をとって英語活動で国際コミュニケーション能力を高めると言っても曖昧になってしまうのではないかと思います。

私も手話をやっていますが、手話も日本語に比較すると外国語に近い言葉です。手話の指導をしています。手話サークルと手話通訳とはまったく違い、手話サークルは聞こえない方との交流です。そこにはコミュニケーションの能力には限界がありどこかで躓いてきます。実際に聞こえない人と会話ができるように手話をやろうと思うと、ある程度時間をかけて、たとえば一年間に90時間とか講座を受講し試験に受かるように集中的に取り組まないとそこまでのコミュニケーション能力は身に付かないと思います。

英語も漫然と英語活動をやっているだけでは、英会話につなげるようなコミュニケーション能力として、その下地としては身に付かないのではないかという気がしています。一年間時間をかけてどういう成果があったとか、どういう目標でやるのか、そのあたりをもう少し観ていただきたいと思います。

藤村教育長

それが一番大事だということで、国際理解の先生が自分の考え方でやっていた国際理解教育を来年度からは、研究委員会を組織し中学校の先生やALTも加えて研究していきます。また、年間を通して国際理解の講師の先生方が10回くらいの研修を受けることにしています。それらをしながら研究指定の2校を中心に推進し、その都度授業を反省し、指導方法やどのような力を付けていくかをしっかり研究しながら進めるようスタートします。ただ漫然と進めるのではなく、研究をしながら進めていきたいと考えています。

百瀬委員長

時間もありますが、ほかに質問はありますか。

岡本委員

女子中学生の制服について、私も3人の子どもが中学校で延べ9年間を過ごしたときに思っていました。女の子2人は制服のズボンを買いませんでした。私が「寒いから買ったら」と勧めても、「はきたくない」「みっともない」がひとつ、寒い日

はスカートにハイソックスで、もっと寒い日は体操着のタイツの上にスカートをはいて行っていました。親としては、制服が高いといえは高く、男の子であれば4万円、女の子は4万7千円でこれに冬のズボンとなると広陵中学校の場合は8千円です。たいへん寒い日しかはなかいとすれば、3年間で何回はくだろうと考えると私もあまり強くは言いませんでした。1年間のなかで1、2回はくために8千円の出費が痛いことの二つが原因ですね。

制服については、いつも思っていました、あの期間だけしか着ない特殊な服装なんですね。小学校の時は、いつもの着慣れた服装で、高校生の自由服のところは自分の好きな行動しやすい服装で行きます。中学校だけが制服で、子ども達が勉強しやすく、動きやすく、休み時間にはスポーツもできることまで考えれば、特に男の子の制服は不相当だと思いながら見ていました。健康のことを考えるのであれば、もう一度制服を見直し、実際に制服が子ども達の身体や動きにあった物なのか、もう少し議論を掘り下げて、じゃあ冬はどうするか、夏はどうするか議論する時期に来ているのではないかと思います。

実際服装の調節もできませんので、冬は体操着を下に着たり、夏の暑いときに男の子は半袖のカッターシャツを着ないなど、とても不自然なところが見られます。また、制服は、卒業後使えないので中学3年の冬にズボンが破れても1万円の出費を迷い、継ぎを当てて卒業式に出席することもありました。

このような意見をきっかけに見直しをしてみたらどうかと思います。

百瀬委員長

ほかの委員さんはいかがですか。

百瀬職務代理

制服の選定はどのように決まりますか。

藤村教育長

各中学校で生徒や保護者の声を聞いて決めています。

百瀬職務代理

今年は、特に寒くて、自宅の前を通るスカートをはいた子ども達にあいさつしながら「寒くないか」と聞いたことがあります。子ども達は「寒い」と言うので「ズボンはいていけば」と言うのと「いやだ」と言うので「なぜ」と聞くと「学校へ行くとみんなスカートはいているから」と「どうしてもはいて行けない」と言っていました。でも2、3人の子どもにズボンをはきたいか聞くと「はきたい」と言いました。学校でも指導を徹底していけば、ズボンをはくようになるのではないかと思います。

百瀬委員長

私の中学時代は、まだ制服がなく女の子は夏はスカート、冬はズボンで衣替えをしていました。今は、衣替えのような事はどのようになっていますか。

丸山委員

塩尻中学校の場合は、家庭で女の子への指導は周囲の生徒がズボンをはいていな

ければはかないのでたいへんに難しい状態です。親ははかせたいと考えていますが、はいて行かせることはできません。でもクラブの顧問の先生が指導するとズボンをはきます。保護者としては消極的な意見ですが、個人の考え方を表すことが難しいので、全体的な方向を学校で決めて先生方が指導していただけたら何とかなると思います。

スカートも規格の丈ではなくなり短くなっています。その長さですら親の力が及ばない状態です。冬の気候にあった服装は、誰でもズボンがいいと考えますが、スカートの下に体操着をはかせ埴輪スタイルで通わせています。

藤村教育長

制服でなければ、Gパンやズボンをはくようになるでしょうね。

岡本委員

高校の時は、Gパンをはくことが多かったですね。

丸山委員

ただ、制服が良いと言う親も多いですし、子ども達は制服が無くなるとお化粧品も含めて見た目を優先してしまうことにもなると思います。思春期の難しさ、特に女の子の指導には、先生方もたいへんに苦労されていると思います。情報や物が豊富な中では、制服が一つの歯止めの役割をしている状態です。

岡本委員

冬であれば下はGパンで、上はトレーナーやセーターを学校が指定したり、冬期間だけ指定するなど、長野県にあった服装を柔軟に考えていくことも一つの方法かと思っています。学校の裁量に任されていますが、保護者としては入学して状況が分からない中でPTAに参加し、3年間もあつという間で制服について考える時間がありません。そのような形が繰り返されて、深く掘り下げた話し合いがないままになってきている経過もあります。

藤村教育長

もう少し教育委員会の考え方をはっきりさせ、学校に提案していかなければならないと思います。議員からは、ファッションと命とは別に考えなければいけないとお叱りもありましたので、そのような配慮をしながら検討したいと思います。

百瀬委員長

学校の先生にもどのように考えているか、校長会で聞いていただいて両方で考えていきたいと思います。

ここで10分間、休憩をとりたいと思います。

(休憩)

百瀬委員長

それでは、休憩を解いて再開します。

生涯学習部関係の説明をお願いします。

神戸次長

- ・各担当の課長から説明するのでよろしくお願ひしたい。

(以下、担当者から資料に基づき説明)

- ・鈴木議員には、あった新しい時代にあった図書館に計画を反映していく。
- ・図書館長を10月までに就任させ、副館長は4月1日に配置すると答弁した。

小林館長

- ・丸山議員のユニバーサルデザインは、市民9人から30項目の提案を受け、可能な限り取り入れた。

白木課長

- ・丸山議員の観光行政、生涯学習では、檜川の漆器職人による講座を開催することを答弁した。
- ・学校開放は、適当な講師がいれば対処することとした。

神戸次長

- ・中原議員の天体望遠鏡は、寄贈者と設置場所を答えた。

白木課長

- ・塩原議員は、井野議員から本会議で質問があったが、選者の人数を来年度にかぎり増やすことなどを答えた。
- ・武居議員は、大門七区、郷原、堅石に2館補助の実績があること、文化振興事業団は現行通りとすると答えた。
- ・檜川地区文化施設については、予算の一本化を考え、市全体の博物館を網羅した取り組みを検討すると答えた。
- ・井野議員は、氏名の訂正をお願いしたい。短歌フォーラム予算では、今年200万円の増額しているが、選者の増、8月27日に予定するイベントなどを答えた。

寺澤係長

- ・吉江議員の体育館改修には、新体育館の要望もあり将来的に現在の体育館をどうするかとの質問で、耐震結果により検討していくことを答弁した。
- ・スポーツをやらない人への対応は、イベント等を通じて拡大すると答えた。
- ・丸山議員の年間利用者と予約利用者との整合は、使用1時間前までの手続きとして重複防止をする点を答えた。
- ・吉江議員の体育施設管理は、各課の連携によることとし総体的な見直し機会があれば検討すると答えた。

百瀬委員長

それでは、生涯学習部関係について、質疑等ございましたらお願いします。

丸山委員

丸山議員の芸術文化に関する居場所づくりは、信濃の国大合唱フェスティバルのオペラの事ではないかと思いますが、私の娘も前に参加しましたが現在はどうのようになっていますか。小学生が先生方と共にオペラをやりましたが、中学生も入れていく事も含めた発言だと思いますが。

北澤館長

以前は、「オペラトライコース」として、社会教育課で子ども達を集めて講習会をし、レザンで発表会をする流れでできていましたが、今は社会教育課でやらなくなりました。今年の信濃の国では、オペラを取り入れませんでした。6回開催してきて、新たな視点で見直しましょう、また、本来の信濃の国に戻りましょうということから、毎回、実行委員会を立ち上げて内容を検討することにしました。今回は、台本づくりから演出まですべて実行委員会で行いました。時間的にも余裕がなく、オペラで子ども達を育成することができませんでした。懇話会の答申が出ましたのでやっていきたいと思いますが、実行委員会の団体ごとにやっていきましようということになっていきますので、社会教育課の育成部分と相談をしながらやることになると思います。

実行委員会の中でもオペラをやらないということではなく、条件を整えばやりましようということでお礼しまして、私ども指定管理者として効率を求められておりますので、それと子どもの育成をバランス良くやっていきたいと思っております。当然、今おっしゃったことは分かっておりますし、子どもの育成も大事だと分かっておりますので、意を用いてやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

百瀬委員長

私から関連してお願いします。居場所づくり実行委員会はどのような会ですか。

白木課長

現在は、こども課の青少年係で扱っていますが、平成16年に社会教育課で設置をさせていただきました。主なメンバーは、社会教育委員、各地区の公民館長で構成されております。今回の丸山議員は、学校開放に関連する質問でしたので社会教育課から答弁をしたものです。

議員がおっしゃった芸術文化は、子どもの居場所づくりが得てして体育関係の比重が高いなかで、芸術文化に関することではなにか考えることはないかとのことで、文化系を希望する生徒と先生がいれば子ども居場所づくり実行委員会で対応できると答弁したものです。

百瀬職務代理

短歌フォーラムについて、歌人クラブの話もありましたが、このような方を呼んで開催する費用はどのくらいになりますか。

白木課長

日本歌人クラブについては、チラシを配布しておるのでご覧いただきたいですが、この催しはクラブが主催して開催されますので市の負担はありません。日本歌人クラブは東京とか大都会では、会員も多く集まりますが地方に出て開催したいということで、昨年からは短歌セミナーを始め第1回は市川市で開催されています。第2回を地方都市でも開けるのではないかとということで、短歌フォーラムが20回を数え、また、チラシに掲載されている島崎榮一さんが洗馬の興龍寺に歌碑を建てている事もあって塩尻市での開催が決定しました。

開催費用については、歌人クラブが負担します。短歌フォーラムの費用は、短歌フォーラムの会計から支出しています。

百瀬職務代理

短歌フォーラムは、20回が終わった後、21回以降もこれまでの内容を変えずにやっていくわけですね。

白木課長

資料の答弁に対する対応策にあります。短歌フォーラム検討委員会で研究協議を続けたいと考えています。現在は、2千万円ほどの予算ですが、この額が適当か、また、NHKエデュケーショナルへ約1千万円で委託していますが今後どうしていくかを検討していきます。

ただ全国的には、20回開催しているのは塩尻市くらいで、これに続くのは兵庫県の小野市が17回目と聞いています。他には、長く開催しているところはないと思います。市長も教育長も文化事業については、短期間で評価できないと考えており、継続していることで今回の日本歌人クラブの短歌セミナーが開催されたり、昨年の歌会始には塩尻市から2人も入選するということは、そのような継続してきた力の現れではないかと思えます。

百瀬職務代理

短歌フォーラムは、出席者や短歌の数が右肩下がり傾向になってきていますので、今後どうやって上げていくかが課題になりますね。

白木課長

投稿は、フォーラムが始まったころは一人二首としていましたが、今回は「二十歳」と「50歳」「ぶどう」を題にして募集するほか、無題での募集それぞれに一人二首としていること。それから、今回の選者にはいつもの武川先生、岡野先生、馬場先生に、特に武川先生、岡野先生は20回ずっとお願いしておりますので、21回以降はそろそろ交代かなと私どもは考えており、佐々木先生、小島先生を今回お願いしております。20回が終わったところで、選者の方にかがってそのような話しをしたいと考えています。

百瀬委員長

ほかにございますか。(なし)

なければ市議会の報告は以上とします。

○報告第4号 総合文化センター機械室倉庫活用計画について

百瀬委員長

報告第4号総合文化センター機械室倉庫活用計画について説明をお願いいたします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・本年度、空調関係を改修し、機械室を倉庫、会議室にするもの。
- ・こども教育部の設置で相談室が不足しているので、新年度予算420万円で設

置する。

- ・鍵のかけられる部屋は、基本的には倉庫としていく。
- ・講堂南の倉庫に収納していた机、イスは、講堂ステージの下に収納した。

百瀬委員長

ただいまの説明について、質疑等ございましたらお願いいたします。

岡本委員

新しい会議室は、貸し出しができますか。

白木課長

一般貸し出しができます。総合文化センター利用者の会が3月16日に開催され、この計画を提案しご理解をいただいています。団体事務室については、C機械室へ移動していただきますが、会議利用の場合は通常の会議室をご利用いただくことで了解を得ました。

百瀬委員長

ほかにございますか。(なし) それでは、次に進みます。

○報告第5号 校長、教頭の人事異動について

百瀬委員長

報告第5号、校長、教頭の人事異動について説明をお願いいたします。

藤村教育長

(資料に基づき説明)

- ・校長は、東小、西小、片丘小、宗賀小、丘中、檜川中、両小野中7名交代する。
- ・東小、宗賀小、檜川中は、教頭からの昇任、西小は、主幹教育主事から。
- ・教頭は、6人で広丘小が勸奨退職、昇任は広丘小、宗賀小、塩尻中が教諭からの昇任となる。
- ・このほか、西小から教頭が1名昇任、桔梗小から教育支援主事が1名転出する。

百瀬委員長

質問等ございますか。(なし)

○報告第6号 教育相談員等の配置について

百瀬委員長

報告第6号、教育相談員等の配置については、さきほど教育長から説明をいただきましたのでよろしいでしょうか。

委員

異議なし。

小島担当課長

事務局から追加をお願いします。スポーツ振興相談員、今嶺勲さんの記載を落としてしまいましたので追加をお願いいたします。

百瀬委員長

はい、わかりました。委員の皆さんはよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

それでは以上で教育長報告については終わります。

4 議 事

○議事第1号 塩尻市教育委員会等の公印規則の一部改正について

百瀬委員長

4番議事に入ります。議事第1号、塩尻市教育委員会等の公印規則の一部改正について、を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 第8条中、「教育長」を「教育委員会」に改める。
- ・ 条文を組み替え、第8条にコンピューターによる電子公印の使用を追加する。
- ・ 趣旨は、インターネットでの施設予約等の際、許可証に用いる電子公印を追加するもの。
- ・ 40ページ7行から8行は、削除をお願いします。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑等ございましたらお願いいたします。(なし)

それでは、意見はございますか。(なし)

なければこの議事第1号につきましては、承認としてよろしゅうございますか。

委 員

異議なし。

百瀬委員長

それでは、議事については、以上で終了いたします。5番その他へ移ります。

5 その他

○その他第1号 「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動について

百瀬委員長

その他第1号、「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動について、事務局から説明をお願いします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」は、1月の定例教育委員会で委員長からご提案をいただいている。
- ・ 国民運動として、社団法人日本PTA全国協議会が主催し、発起人会は幅広い各界の方が名を連ねている。
- ・ 教育委員会としても、地域活動として推進されるよう市P連を通じて呼びかけていく。

百瀬委員長

塩尻市としてこの運動を立ち上げようと考えていましたが、全国運動として開始されたことで先進的な取り組みにはできなかった点では少し残念な気もします。具体的には、どのように進めますか。

小島担当課長

市P連の全体会を通じて、単Pの活動に位置づけられるよう進めたいと思います。家庭にはこのチラシが配布され周知されています。

丸山委員

昨年は、塩尻市でNHKのラジオ体操が開催されPTA支部長として子ども達と参加しましたが、10分間に歌や準備運動、第一、第二体操が凝縮されていました。この体験を夏休みの地区のラジオ体操に活用して10分間の活動として実施したところ、先頃の反省会の中ではたいへんによかったとの声がありました。

このなかで問題は、子ども達が第一、第二体操ができないことで、夏休み前に教える学校もありますが、第二体操はまったくできません。国民運動として、ラジオ体操を進めるなら学校でもできる先生に教えていただくようにしてほしいと思います。また、前に立ってリードする子どもも、左右逆さまに体操することができたらと思いますので、機会があれば校長先生に伝えてください。

百瀬委員長

第二体操は、昔からあまりやりませんでしたね。

丸山次長

学校の運動会もストレッチを準備運動とする学校がほとんどになってきています。

百瀬職務代理

「早寝・早起き・朝ごはん」は、各家庭の状況はどうでしょうかね。

丸山次長

16年度の基本的な生活習慣の調査では、「朝食を食べないことがある」が小学校では15%、中学生22%ですが、市内では小中とも10%という結果となっています。

百瀬委員長

睡眠時間はどうですか。

丸山次長

塩尻市では調査していません。

百瀬委員長

この調査は、ベネッセが実施していますので首都圏の実態でしょうね。説得力のある取り組みには、まず塩尻市の実態を把握することが大事ですね。

藤村教育長

この運動は、かけ声だけに終わるのではなく、どのように定着させるかが課題です。これまでもかけ声だけに終わり、どうなったかの確認がされていないので、国民運動として盛り上げるためには、家庭でも真剣に盛り上げる方法がないかと思

います。

百瀬職務代理

丸山委員さんもおっしゃっているように、早寝にはテレビの影響も大きいと思います。

藤村教育長

親子と一緒に活動すれば一番いいと思います。それをどのようにしていくか方法が難しいところです。

百瀬委員長

私は、正しい生活のリズムが一番大事だと思っています。

最近、出た本で「日本を滅ぼす教育論議」という講談社の現代新書があります。朝日新聞のほか信毎にも3月のはじめに書評が載っています。著者は、文部省の課長で若年退職されていますが、内容は教育問題だけでなく日本にはマネジメントが定着していないということで、実態と原因、方策の論理がしっかりしない内に次から次へといろいろなものがでて、結局中途半端に終わってしまうことを指摘しています。

外国の状況も取り上げて行政のあり方が示されており参考になると思いますし、事務局の皆さんにはご一読いただいて、実態と原因、方策の論理を組み立てて「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組んでいただけたらと思います。

丸山委員

市Pの話が出ましたが、保育園の先生のお話しでは、お母さんが寝るのが遅いために夜更かしをする小さな子どもが多くなっているとのこと。子どもがなかなか起きられず、保育園に来ることができないそうですので保育園の保護者会にも働きかけをお願いします。

講演会との話しもありましたが、保育園から習慣付けをして小学校につながるようお願いします。

百瀬委員長

ありがとうございます。それでは、その他を終わります。

この際、委員の皆さんから何かございましたらお願いします。(なし)

では、事務局からはありますか。

丸山次長

はい、高校入試の速報値についてお願いします。資料は、教育委員さんのみに配布しており、併願の結果を含めてない速報値で、最終的な報告は4月の定例会議で報告します。資料は、丸秘扱いとなるので取扱いに注意をお願いします。

次に、キッズシェフ事業について、三國シェフの講演会チラシを配布したので、ご都合が付いたら参加をお願いします。4月17日、月曜日になってしまいますが、総文講堂で実践発表として、食生活改善推進協議会、保育園給食、学校給食、JAの地産地消の発表があり、その後三國シェフの後援があるのでよろしくをお願いします。

百瀬委員長

野村生涯学習については、いいですか。

藤村教育長

ご覧いただければ結構です。

百瀬委員長

はい。ありがとうございました。

6 閉 会

百瀬委員長

本日の議題は以上で終了しました。それでは、以上を持ちまして3月の定例教育委員会を終了いたします。どうもご苦勞様でございました。

- 午後3時50分に閉会する。

以上

平成18年3月 日

署 名

委 員 長

同職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

記 録 職 員 教育総務課
教育企画担当課長
